

## 10. (県共催)産・官・学 連携 平成28年度4ブロック研修会開催(報告)

(公社)群馬県協会は公益法人移行5年目を迎えた。当組織の主要事業である(県共催)産・官・学 連携 平成28年度研修会は、

- 1) 中毛ブロック(前橋会場) 前橋・伊勢崎支部(担当連携)
- 2) 北毛ブロック(吉岡会場) 渋川・吾妻・沼田支部(担当連携)
- 3) 東毛ブロック(太田会場) 太田・桐生・館林支部(担当連携)
- 4) 西毛ブロック(高崎会場) 高崎・藤岡・富岡・安中支部(担当連携)

各会場は標記ブロック各支部連携担当により開催。

行政機関と学界機関の格段なご指導ご支援を仰ぎ、各機関より優秀な講師派遣による研修概要は全て素晴らしい充実した講義にて、「組織で学ぶ教育と実践」学習は、廃棄物処理法を遵守しての資質研鑽・向上に資する人材育成確保と組織の連携強化に向けての研修事業は、当群馬県協会組織会員のみならず、行政機関・産業界・他機関に研修受講拡大勧誘活動を図り、受講者に行政機関と協会代表の連記による修了証を交付しての「組織で学ぶ教育と実践」(県共催)4ブロック研修会は年々研修会開催の意義ある経緯により各研修会は大成功裡を収めた。

### 平成28年度 産・官・学連携 (県共催)4ブロック研修会開催日程等一覧表

開催日時 # 担当	会場	開始時刻 (※予定)	講師	研修タイトル
2/21(火) Pm1:00 受付 [担当] 利根沼田・吾妻 環境森林事務所 渋川・沼田・吾妻 各支部	[吉岡会場] 吉岡町文化センター (研修室) 北群馬郡吉岡町 下野田472 Tel.0279-54-1161	Pm 1:30	<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 技師 近藤史也氏 <県警> 群馬県警察本部 生活安全部 生活環境課長 警視 平田富徳氏	「廃棄物処理法及び関係政省令の 一部改正等について」 「危機管理対策」 ～営業秘密侵害事犯への対処～
		Pm 2:30	<学界> 高崎経済大学 地域政策学部 准教授 飯島明宏氏	「身の回りの環境リスクを考える」
2/22(水) Pm1:00 受付 [担当] 西部環境森林 事務所 高崎・藤岡・富岡 安中各支部	[高崎会場] 高崎市総合福祉 センター (たまごホール) 高崎市末広町115-1 Tel.027-370-8822	Pm 1:30	<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 主幹 林実加子氏 <県警> 群馬県警察本部 生活安全部 生活環境課長 警視 平田富徳氏	「廃棄物処理法及び関係政省令の 一部改正等について」 「危機管理対策」 ～営業秘密侵害事犯への対処～
		Pm 2:30	<学界> 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所 先端機能材料研究部 環境資源材料研究プロジェクト プロジェクトリーダー 瀬古典明氏	「放射線加工技術を活用した 環境資源保全材料の開発」
2/27(月) Pm1:00 受付 [担当] 東部環境事務所 太田・桐生・館林 各支部	[太田会場] 太田市社会教育 総合センター (レクレーション室) 太田市熊野町23-19 Tel.0276-22-3442	Pm 1:30	<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 主幹 齊藤恵二氏 <県警> 群馬県警察本部 生活安全部 生活環境課長 警視 平田富徳氏	「廃棄物処理法及び関係政省令の 一部改正等について」 「危機管理対策」 ～営業秘密侵害事犯への対処～
		Pm 2:30	<学界> 群馬大学大学院 理工学府 知能機械創製部門 古畑朋彦教授	「燃焼により生成する 大気汚染物質の抑制技術」
2/28(火) Pm1:00 受付 [担当] 中部環境事務所 前橋・伊勢崎 各支部	[前橋会場] 群馬建設会館 (大ホール) 前橋市元総社町2-5-3 Tel.027-252-1666	Pm 1:30	<行政> 群馬県廃棄物・リサイクル課 主幹 有坂和則氏 <県警> 群馬県警察本部 生活安全部 生活環境課長 警視 平田富徳氏	「廃棄物処理法及び関係政省令の 一部改正等について」 「危機管理対策」 ～営業秘密侵害事犯への対処～
		Pm 2:30	<学界> 前橋工科大学 工学部 社会環境工学科 准教授 佐川孝広氏	「各種産業廃棄物・副産物のセメント ・コンクリート分野での利用」

## (県共催)平成28年度4ブロック研修会開催状況



渋川会場



高崎会場



太田会場



前橋会場

### 1.1. (県共催)適正処理推進事業

#### 不適正処理防止巡視活動の積極的展開について

(公社)群馬県協会は地域社会に密着しての事業活動は、自然環境の保全・生活環境の保全に寄与を念頭に、県下に不法投棄防止立看板を制作設置(各支部30ヶ所=12支部にて360ヶ所設置)、適正処理推進員(1支部6名=12支部72名)を協会長が委嘱しての組織の先頭に立ち、適正処理推進を掲げ「許すな不法投棄監視区域」県行政・県警察本部・市町村・協会連記の立看板の異常確認(広報設置確認済)を兼ねて、立看板設置周辺の除草整備 他不法投棄防止確認は、立看板設置間の巡視パトロール(月1回)の実施のほか処理施設・各企業の資材置場・向上周辺の巡視啓発パトロールを、各支部組織による適正処理推進事業に関する啓発巡視活動の積極的展開を実施。尚、巡視パトロールの実施報告書を作成、毎月支部長に提出、支部長より本部協会長に報告書を提出が実施報告に定められている。

## 1 2. (県共催)全国環境美化(春・秋)活動の積極的参画について

県共催事業として県行政機関の主動にて県下各地域にて、全国環境美化活動が開催され、環境保全社会の形成推進を目指し各支部組織によるボランティア活動の参画は、県行政機関との連携事業として県下各地域の環境美化活動に関する積極的展開を図っている。

本年は昨年に引続き主要実施場所は、榛名湖周辺の環境美化活動を実施。尚、協会各支部組織による自然環境・生活環境の保全に関わる山間部の立看板設置ヶ所の巡視活動及び市街地にて適正処理啓発活動を実施。

## 1 3. 適正処理推進事業 紙マニフェスト・電子マニフェストの頒布啓発活動の積極的推進について

適正処理推進事業は(公社)全国産業廃棄物連合会と(公社)群馬県協会との連携マニフェスト頒布事業の推進、及び発生廃棄物の管理に関する利便性向上の推進

- 1) 紙マニフェスト・電子マニフェストの普及啓発に関して廃棄物発生の管理システムに不可欠な廃棄物処理伝票による発生品目の細目管理・統計によるリサイクル化・再資源化・減量化を図り、環境と資源の保全に寄与・循環型社会の形成構築を目指す。
- 2) 廃棄物の発生から処理までの管理システムの確立。
- 3) (公財)日本産業廃棄物処理振興センターと(公社)全国産業廃棄物連合会との協議による(環境省)電子マニフェスト 35%より平成 27 年度 50% 目標数値に向けての研修科目の実務研修会を平成 27 年度より開催実施。

電子マニフェストの普及率を 35%から 50%目標数値(案)に関する紙マニフェストの頒布減少は避けられない予想は(公社)全国産業廃棄物連合会の事業運営・各県協会の事業運営の危機感があり、環境省とマニフェスト推進委員会による電子マニフェスト 50%普及促進による紙マニフェストの頒布事業の減少に関する支援策として、平成 30 年度より優良事業化制度に関する(公社)産業廃棄物連合会の主催「実務者研修会開催」を配慮すると平成 28 年度廃棄物処理法の改正・見直しに向けての論点となっている。今後も(公社)全国産業廃棄物連合会は循環型社会の形成に関する廃棄物の管理システムに不可欠な電子マニフェスト頒布啓発推進に関する積極的展開を図ることとする。

### 電子マニフェスト導入説明会開催状況



## 1 4. 産・官・学連携(県共催) ぐんま環境フェスティバル実行委員会 平成28年度ぐんま環境フェスティバル 並びに 適正処理推進環境啓発街頭キャンペーンの開催推進について

1. 開催日時 平成28年10月1日(土)
2. 開催場所 ヤマダ電機 LABI1(高崎) イベント会場にて
3. 1) 開会セレモニー Am 9:30 上武大学吹奏楽部演奏  
2) 開 会 式 Am10:00

県行政・県議会・各行政・学界・産業界・県民  
ぐんまちゃん・Gファイブ・上武大学吹奏楽部 参画

(主催)ぐんま環境フェスティバル実行委員会(60団体組織)は、郷土群馬県の自然環境・生活環境の保全を注視して、群馬県の美しい自然環境・豊かな環境の維持発展を目指し、例年開催される環境啓発イベント開催に向け実行委員会は、産・官・学連携事業として開催、事業運営に関する運営費の協賛・出展者の勧誘啓発・学界による基調講演など開催企画を策定、(県行政)産・官・学連携 適正処理推進啓発街頭キャンペーンの開催は、ヤマダ電機(株)の特段な会場運営にご高配を賜り(公社)群馬県協会の積極的ボランティア事業としての参画、行政機関のご指導ご支援による 産・官・学 連携による参加者により、環境イベント開催は全国に誇れる事業として大成功裡を収めている。



## 1 5. (公社)群馬県協会における環境保全保証基金の運用管理、並びに 県行政機関との環境保全保証基金(運用益)事業の推進について

当群馬県協会の平成元年法人化に伴う環境保全保証基金の創設(3年間にて3億円拠出事業)は、当協会名誉顧問 尊師 福田 赳夫 先生、福田 康夫 先生のご指導ご支援を仰ぎ、基金拠出金に関わる特別措置法損金算入による基金造成による群馬県行政と(公社)群馬県産業廃棄物協会との連携事業は、会員企業は基より産業界(排出事業者)との連携支援を仰ぎ、3年間に3億円の拠出達成に大蔵省の大臣官報公示の産業界初の金字塔の功績を築き上げた。

平成元年群馬県行政との連携による基金運用益事業として、下仁田町山間地域における原因者不明の不法投棄物の調査・不法投棄物の撤去事業を初事業として(県共催)不法投棄物緊急処理対策事業の名称にて蕨塚本町地域、太田市東金井地域の撤去事業、県下各地域の生態系に関わる硫酸ピッチ不法投棄物の調査・撤去事業は行政機関をはじめ市町村行政・関係自治会・県民より基金運用益による撤去処理事業は高く評価をされ、報道機関各紙が報道取材掲載され、当協会の環境保全保証基金事業の運用管理並びに県行政機関との環境保全保証(運用益)事業推進に県民より大いに期待されている。

## 16. (共催)公益社団法人日本産業廃棄物処理振興センター 産業廃棄物処理業許可取得講習会開催 (公社)群馬県環境資源保全協会の支援について

産業廃棄物処理業許可取得講習会開催会場は、全国にて限られての開催であり群馬県会場の開催は群馬県協会会員により旅費・宿泊費を考慮して大変有意義な開催であり、(公社)群馬県協会本部にての受講者拡大受付、受講会場にての会場設営、開催運営に関する積極支援を図った。

## 17. 優良事業者認定制度に関する推進事業の促進について

処理業界の健全・充実化促進事項

- 1) 優良事業者の資質研鑽に関する人材育成確保研修会・講習会 他 開催
- 2) 各企業のレベルアップによる組織業界の健全化推進
- 3) 関係行政機関との連携強化による研修・講習会の開催
- 4) 上部機関(公社)全国産業廃棄物連合会による優良化推進事業の促進
- 5) 電子マニフェストシステム加盟促進
- 6) エコアクション21認証取得に関する普及啓発活動の促進
- 7) 産業廃棄物の事業場外の保管事前届出制度の促進
- 8) 各企業の優良化認定制度に関する相談支援活動
- 9) その他

以上の各項目の優良事業者認定制度に関する推進活動の積極的展開を図った。

## 18. (共催)公益社団法人全国産業廃棄物連合会 平成28年度産業廃棄物処理実務者研修会開催

(公社)全国産業廃棄物連合会は公益法人組織の人材育成強化推進事業として産業廃棄物排出事業者と処理業者等の処理業界に不可欠な委託契約に関する行政機関より適正処理推進対応に係る、より一層の資質向上を図るため「組織で学ぶ教育と実践」を主旨として協会会員企業のみでなく関係機関・協会外企業(第三者機関)にも広く受講を呼びかけ、産業廃棄物の処理実務に携わる実務担当者を対象とする(公社)群馬県協会と共催による実務者研修会を開催する。

— 記 —

1. 開催日時 平成28年11月8日(火)
2. 開催場所 群馬建設会館(大ホール)
3. 受講料 7,200円(税込) テキスト代含む
4. 受講拡大勧誘活動の積極的展開

## 19. (県共催)産業廃棄物運搬車両一斉路上調査

### 実施に関する積極参画について

関東圏行政機関連携(東京都庁事務局)による群馬県行政機関(廃棄物・リサイクル課)の産業廃棄物運搬車両一斉路上調査実施事業に、(公社)群馬県協会の参画連絡指示に伴う実施場所の各協会支部(高崎・藤岡・富岡・安中支部)と本部事務局がボランティア参画、廃棄物運搬車両に関する運搬許可証・運転免許・マニフェスト運用確認・積荷品目の確認・軽油抜取調査 他行政機関職員と県警察職員連携による産業廃棄物運搬車両の一斉路上調査を実施。

(公社)群馬県協会会員は啓発のぼり旗を掲揚、各車両運転手に啓発資料配布に努め群馬県行政機関との連携啓発推進にボランティア活動として参画した。

(公社)群馬県協会は路上一斉調査の初回より参画、関東圏行政機関の一斉路上調査への参画は(公社)群馬県協会のみであり誇れる実績を築き上げている。

#### — 記 —

実施日時 平成 28 年 10 月 14 日(金) Am9:30～正午  
実施場所 高崎市新町国道 17 号線(高崎署新町交番)  
協会参加者 15 名



## 20. 関係機関・関係団体との連携強化による環境保全啓発事業の推進

### [概要]

(公社)群馬県協会は行政機関のご指導ご支援委より関係機関・関係団体と連携による行政機関をはじめ、関係機関・関係団体との連携強化による環境保全啓発事業の推進に努めた。

環境イベント(環境と森と木のまつり等)開催に参画



## 21. その他事業

1. 女性部会の事業支援について
2. 青年機構の事業支援について
3. 関係機関の事業支援について
4. 各研修会・講習会・環境啓発イベントの事業支援について